

第1学年 学級活動(1) 学習指導案

日 時：平成29年11月10日(木) 5校時

児 童：洋野町立種市小学校1年2組

男子10名 女子10名 計20名

指導者：本 宮 勇 希

1 議題

「仲良しピカ1パーティーで何をするか決めよう。」

(1)ーウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 付けたい力

(1) 単元を通して

学年の友達と関わり合いながら、学校生活を楽しく豊かなものにするためにどうすればいいかを進んで考え、みんなと協力して実践できる力を養う。

(2) 学級会の中で

〈計画委員〉話し合い活動の基本的な進め方を理解して進行することができる力を養う。

〈全 員〉学年集会を楽しめるものにするために進んで話し合い、友達と協力してよりよい解決方法を考えている。

(3) 特別活動における「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」の視点

今回は単元を通して「人間関係形成」に重点をおいて指導する。

3 児童の実態

本校が独自に行っている児童の意識調査の結果から、ほぼ全員の子どもが友達の意見をしっかりと聞き、決まったことを楽しく実践している。一方で自分は学級の役に立っていると考えられず自己肯定感が低い子が多い。

提案理由にそって自分の賛成意見を進んで話すことができるようになってきた。また、友達のよさにも気付くことができる児童が増えてきた。しかし、そのことで自分の考えが定まらない児童もいる。

決める段階においては、いくつかの方法の中で、どれが全員納得するかを自分たちで選びながら意形成を図っている。しかし、自分の意見に固執し、友達の意見に賛同したり妥協案に納得したりできない児童もいる。

4 活動計画と評価規準

	日時	計画委員の動きと評価規準	全員の動きと評価規準	支援
事前	11/6(月) かがやき		・学級会シートに自分の考えを記入する。 【関心・意欲・態度】 議題の内容に関心をもち、学級会シートに自分の考えをまとめようとしている。	・学級会シートを作成する。 ・議題や提案理由等を確認し、理由とともに意見を書かせる。 ・短冊を用意する。
	11/9(木) 昼休み	・話し合いの進め方を確認する。 【知識・理解】 話し合い活動の基本的な進め方を理解している。		・話し合いの進め方についての確認をする。
事後	11/13(月)		・決まったことをもとに準備をする。 【関心・意欲・態度】 決まったことについて、進んで実践しようとしている。	・話し合いで決まったことを短冊に書く。
	10/14(火) かがやき		・実践後のふり返しをおこなう。 【思考・判断・実践】 実践し、自他の成長を感じながらふり返しを書いている。	

5 本時の指導

(1) 提案理由とキーワード

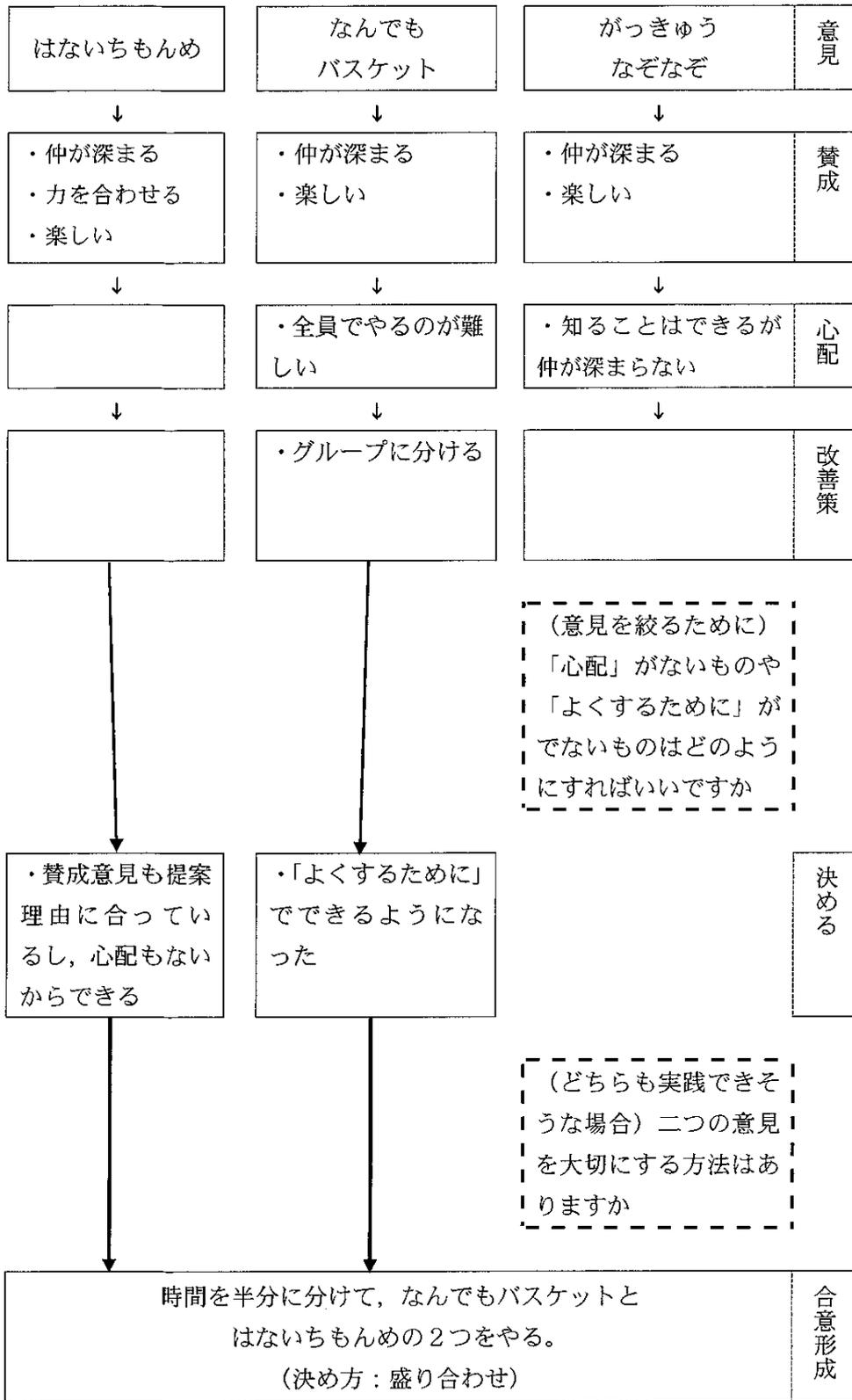
入学後、学級での活動が多くを占め、学年での交流はほとんどなかった。学習発表会に向けての練習で初めて力を合わせて活動する機会ができたので、次の提案理由のもと、この議題を扱う。

- ① 1組のことをよく知りたいから。→「1組をよく知れる」
- ② みんなが楽しめて、仲良くなる会にしたいから。→「みんなが楽しめる」

(2) 展開

話し合いの順序	予想される子どもの発言・指導上の留意点・評価方法			
1 はじめのことば 2 計画委員紹介 3 議題・提案理由・決まっていることの確認 4 めあての確認 5 先生から	・1～5まではスムーズに進行できるように事前に指導し、台本も用意しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 決まっていること ・11月14日(火)3時間目(20分間) ・場所：かがやきホール </div> ・提案理由をキーワードで子どもに示し、話し合いが提案理由に沿ったものにするよう助言する。			
6 話し合い ・賛成意見を出し合う。(出し合い) ↓ ・心配な点を聞き、その都度改善策を考える。(比べ合い) ↓ ・再度、自分の立場をはっきりさせる。 ↓ ・決め方を考え、合意形成を図る。(決める)	はないちもんめ 力もする。 ・手をつなぐから協力する。 まる。 とができて仲間も深まる。 ・お互いの名前を呼び合うから、知ることができて仲間も深まる。	なんでもバスケット 楽しかった。 ・前に2組でやって深まる。 ができるから仲が深まる。	がつきゅうなぞなぞ ができる。 ・お互いを知ることができる。	さんせい
		・人数が多いと難しい。	・知ることはできても仲は深まらない。	しんばい
		・何個かのグループに分ける。		よくするために
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 指導・助言 ・提案理由にそった心配意見を出すよう促す。 ・折り合いをつけようという前向きな発言は取り上げて称揚する。 ・自分の意見を言えない児童にも、あらかじめ自分の考えをワークシートに記入させておき、賛成意見は言えるようにしておく。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【思考・判断・実践】 学校生活を楽しく豊かなものにするために友達の意見を聞きながら、進んで話し合いに参加している。 </div>			
7 決まったことの発表 8 ふり返り 9 先生から 10 終わりのことば	・「友達は」「自分は」「実践に向けて」の3観点でふり返らせる。 ・話し合いのよかったところ、改善したいところ、計画委員のねぎらい、実践に向けての4観点で話をする。			

補助資料1 (授業構造図)



【思考・判断・表現】学校生活を楽しく豊かなものにするために
友達の意見を聞きながら、進んで話し合いに参加している。

指導助言

評価規準